



立山町教育センターだより号外

令和7年10月3日発行

そふとめん7

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp/>

通常訪問研修を終えて 雄山中学校

【研修主題】「読み解く力」を基盤として

「主体的・対話的」に学び合う生徒の育成

本校では、「学び合い」「認め合い」「高め合う」生徒の育成を目標に、温かい人間関係づくり、信頼関係を基盤とした組織的な指導・支援に取り組んでいます。

また、町ぐるみで取り組んできた「読み解く力」向上の取組が4年目を迎え、今回の訪問研修では「読み解く力」を基盤として、とやま型学力向上プログラム（Ⅲ期）を意識した手立てを踏まえた研究授業を行った。

〈明らかになったこと・指導助言いただいたこと〉

- ・既習事項の確認を実態に応じてやっておくべきである。これまでの学習内容との比較によって問題意識を高めることにつながる。
- ・実物教材や写真資料等の提示は生徒の興味・関心を引くことにつながるので、出し方や出すタイミング等を考えていくとよい。
- ・グループ学習という方法もあるが、自分の世界に入らせるという点から、生徒個人が考える時間をとる授業展開はよい選択であった。
- ・話し合い活動では、6人より4人の方が一人一人の意見を反映しやすい。
- ・グループ活動では「自分にはない意見を見付ける」等、目的を明確にして行う。
- ・生徒たちで学習をまとめる展開があるとよい。
- ・生徒が自己調整できるように振り返りの時間を大切にしたい。
- ・意見を聞いて終わるのではなく、最後に自分の言葉で振り返る場面を設定する。
- ・自立活動の振り返りができるような仕組みを整えたい。自立活動は形式的な振り返りが難しいので、普段の生徒とのやりとりの中で確認できるようにしたい。
- ・まとめる作業でもタブレット端末を活用することで生徒の学習状況を短時間で全体に共有でき、他の生徒の意見や考えを一度に把握しやすい。
- ・分かりやすい授業を仕組むために、生徒目線で困っていることを予測する。
- ・一時間の授業で、発問の仕方や細かな言葉遣いまで事前に考えておくとうい。
- ・「授業で人をつなぐ」：生徒一人一人が多くの人と関わり、共に問題解決をすることで生徒同士のつながりを深めていくとよい。

〈残された課題〉

- ・学級の実態を的確に把握した上で、グループ編成やその方法を工夫すること。
- ・教師の説明を少なくし、生徒たちに活動時間を十分に確保すること。
- ・グループ活動では、目的やテーマを明確にした上で生徒に話し合わせる。

文責 教務主任 石山 高德

生徒は多くの先生方に授業を見られている中で、緊張しつつも真剣に学習課題に取り組んでいました。RSノートの取組や普段の学習を通して基礎・基本を身に付けるとともに、多様な意見に触れ、学びを深めてほしいと願っています。雄中生、頑張っています！

